

未来志向によるターゲット層の拡大とSDGsの事業活用

創業から半世紀を越える、教育装置の開発・販売事業を行う会社です。大学や専門学校向けの実験装置の他、空気圧エネルギー計測技術を用いてエネルギー損失を可視化する装置も開発販売しています。



東京メータ株式会社

創 業：昭和40年(1965年)
 所 在 地：神奈川県川崎市中原区今井南町10-41
 事 業 内 容：教育研究用実験装置、
 絞り流量計等の設計・製造・販売
 代表取締役社長：馬場 正寿
 従 業 員 数：31名



社会課題

日本はSTEM教育(科学、技術、工学、数学の分野を統合的に学び、将来、科学技術の発展に寄与できる人材を育てることを目的とした教育プラン)に力を入れようとしているのですが、私たちのような中小企業の現場では、理系人材の不足が懸念されています。

SDGs導入に向けた視点

工業高校や高等専門学校、大学に様々な機器を製造・販売してきましたが、長年事業を続けてきて、頭打ちになってきた感覚がありました。新たな分野・ターゲットに目を向け、SDGsの視点で解決できる方法を考えるようになりました。

SDGsの活用・取組

かわさきSDGsパートナーに申請したことをきっかけに『私たちは教育と未来のエネルギーを通し、人類が向かう持続可能な未来と豊かな社会作りに貢献します』という自社の経営理念・ミッションに全社員で向き合い、様々なアイデアを出し合った結果、『スマートシティやSDGs、省エネについて学ぶ教育プログラムを作り、学校関係者にPRする』というアイデアを基に、**学校関係者が集まる展示会での発表や、小学校や自社内でのイベント実施等に取り組み始めました。**実験を通じて子ども達が五感で体験することを重視している会社なので、イベントでは自転車を漕いで発電したり、ペットボトルを改造して風力発電装置を作成したりといった体験型のプログラムを盛り込んでいます。

また、自社の省エネ効果計測器を使ったエネルギー削減対策である『エアパワーメータ®省エネコンサルティング』が川崎CNブランドに認定されました。計測器はあ

くまでも測定するものであり、省エネのための具体的な施策は人間が考える必要があるため、**専門家として改善提案しCO₂削減に貢献できればと考えています。**

経営への効果

学校へのPRや地域を交えたイベントを通じて地域社会に貢献していると実感を得られたことで、従業員のモチベーションが大きく上がりました。今の小中学生は学校でSDGsや気候変動について学ぶため、SDGsに対する意識は大人よりもずっと高く、イベントにも意欲的に参加するのでやりがいがあります。また、人材育成には小さなころからの教育が欠かせません。一部の小学校には自社の教育システムの必要性を感じてもらっており、新たな市場の開拓につながっていると感じています。



SDGsを活用したい企業へのメッセージ



体験型
プログラミング教材
『スマートシティシステム』

経営にSDGsを取り込むのは、最初は重く感じるかもしれませんが、しかし、**一步を踏み出し、かわさきSDGsゴールドパートナーの認証取得を契機にどんどん新しい動きが社内に生まれ、社会貢献にもなり、会社の利益にもつながっていきました。**ぜひ、最初の一步を踏み出してほしいです。